

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.43

発行
一般社団法人 青森県畜産協会

新年のご挨拶

一般社団法人青森県畜産協会
会長 小山田 久

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

令和4年の年頭にあたり、協会員の皆様および関係者の皆様から昨年賜りました協会業務の推進に係わる御支援、御協力に対し、厚くお礼申し上げます。

さて、昨今の畜産を取り巻く情勢を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いた外、配合飼料の価格高騰が続いているなど、畜産農家の皆さんには大変な1年であったと思われます。家畜防疫面では、平成28年以来となる高病原性鳥インフルエンザが本県で発生しました。また、他県においては豚熱などの家畜伝染病が猛威を振っています。

特に、コロナ禍による影響については、一昨年は牛肉の価格が2～3割程度低落し、これに呼応するように肉用子牛価格も下がりましたが、現在の畜産物価格は、牛肉価格、子牛価格共にコロナ前に近い値動きに回復しております。しかし、新たなオミクロン株のまん延が懸念されるなど、まだまだ予断を許さない状況が続くものと思われます。

畜産協会といたしましては、畜産物生産の大宗を占める家族経営をしっかりと支え、法人経営や大規模経営とともに発展させていくことが重要と考えています。

このため、会員の皆さまと一体となって、畜産経営に対する経営指導を基本に各事業を実施していくとともに、併せて収益力強化や生産基盤の強化のための畜産クラスター事業（機械導入）、畜産ICT事業、楽酪GO事業を推進してまいります。また、肉用牛肥育経営のセーフティーネットの役割を果たしている牛マルキン交付金事業については最善の対応ができるよう万全の準備を整えてまいります。

家畜衛生につきましては、近年の豚熱や高病原性鳥インフルエンザのまん延に対応し、昨年改正されました「飼養衛生管理基準」の強化推進やヨーネ病、牛伝染性リンパ腫（EBL）の感染防止対策にも取り組んでまいります。

また、幅広い情報提供などに引き続き取り組んでまいります。

結びとなりますが、今年の干支は「壬寅」です。壬寅には「陽気をはらみ、春の胎動を助く」の意味があるようです。協会員の皆様および関係者の皆様にとって、芽吹いたものが成長するように、希望あふれる日常が新たに始まる年になって欲しいものです。そして、新型コロナウイルスの1日も早い収束をご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。

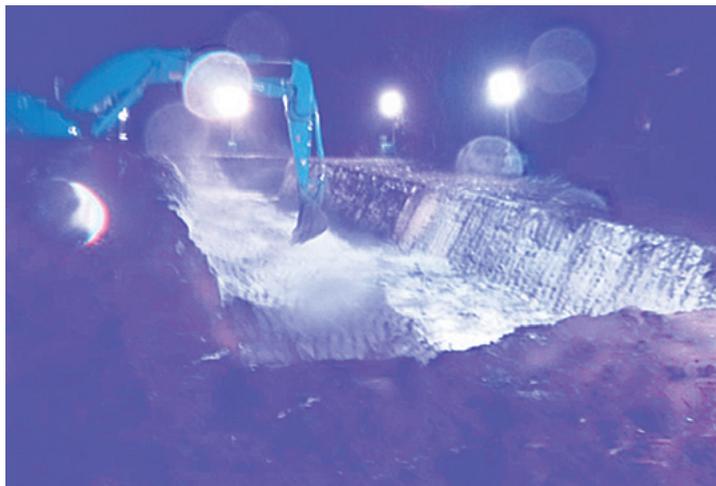
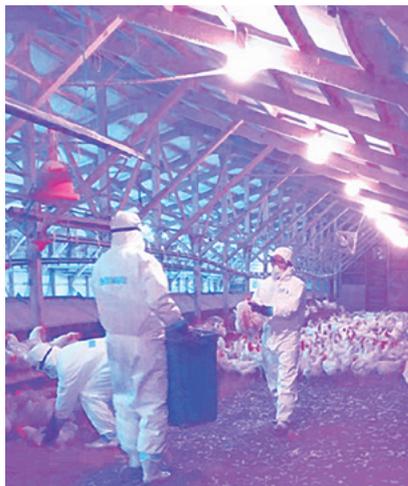
2022年初セリ



令和4年1月7日、七戸町にある青森県家畜市場において肉用子牛の初セリが行われました。当日は強い冬型の寒波と大雪の中で交通障害が発生し、欠場となった団体もありました。主催者及び来賓挨拶に続いて、畜産協会の小山田会長の発声により来場者一堂がりんごジュースで乾杯した後、子牛486頭がセリにかけられました。

平均価格は70万5千円で昨年1月より2千円増でほぼ昨年並みとなりました。市場関係者は「コロナ禍の初セリ相場としては悪くない。」と話していました。この日の最高値はゆうき青森農協の工藤一幸さんが出品した雌子牛で126万9千円でした。なお、新型コロナウイルス感染防止を受け、下北産の「べこ餅」で行っている縁起物の餅まきは2年連続で取り止めとなりました。残念です。皆さん、コロナの感染防止に努めましょう。今年は「全国和牛能力共進会」が鹿児島県で開催されます。一致団結して「あおり和牛」をアピールしましょう。

青森県における高病原性鳥インフルエンザの発生について



昨年12月12日（日）10時に、本県では平成28年以来5年ぶり3例目となる高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されました。

発生農場は三戸郡三戸町の種鶏農場で、11日（土）に死亡鶏の増加について八戸家畜保健衛生所に通報があり、簡易検査及び遺伝子検査陽性の結果等に基づき、国が疑似患畜と判定しました。

発生農場の防疫措置は、12日の10時から開始し、同日の21時に飼養されていた7,250羽全てを殺処分し、処分鶏や汚染物品（鶏舎内の鶏糞・飼料・卵）の埋却作業及び発生農場の防疫措置を14日（火）4時20分までに終了しました。

今回の防疫措置では、家畜保健衛生所の職員をはじめとした県職員を動員し殺処分等の作業を実施するとともに、埋却作業は、委託した建設業者の皆様の全面的な御協力のもと迅速に終了することができました。

その後、清浄性確認検査等の結果に基づき、搬出制限を29日（水）16時、移動制限を令和4年1月5日（水）0時に解除し、今回の発生に伴う一連の防疫対応を終了しました。また、消毒ポイントについては、県職員に加え、県警備業協会及び県ペストコントロール協会の協力を得て、年末年始も含め24時間体制で移動制限が解除される1月5日まで運営しました。この場を借りて今回の防疫対応に携わっていただいた多くの皆様に心から感謝とお礼申し上げます。

併せて、全国各地で本病が続発していることから、家きん飼育農場における飼養衛生管理基準の遵守と異常鶏の早期通報について、よろしく申し上げます。

[県畜産課提供]

2021年 競馬ツアー



令和3年10月24日、競馬振興を図るため、公募に応じた県民を対象として、盛岡競馬場で競馬ツアーを開催しました。青森市と八戸市から貸切バスが出て、当協会を含めて42名の参加がありました。多くの方が馬券購入に勤んでいたようで嬉しく思っています。来年も開催しますので、ぜひご参加ください。



乳和食料理教室



10月6日青森市「お料理 菜のはな」にて一般消費者10名を対象に、食に関する知識を深め、県産畜産物の安全性のPRを目的とした料理教室を開催しました。

講師の野呂裕人料理長から、説明と共に牛乳等県産畜産物を使った料理7品が消費者の目の前で調理されました。

料理の材料のほとんどはスーパーマーケットで購入できることに参加者は驚いており、自宅でも作ってみたいとの声が挙がっていました。次回も食育を通じて参加者が楽しめるような企画を考えていきたいと思ひます。

はちみつ品評会



令和3年10月13日、青森市「アピオあおもり」で、はちみつの品質向上と県産はちみつの普及啓発を図ることを目的とした青森県養蜂協会第9回はちみつ品評会審査会が行われました。アカシアの部・トチの部・りんごの部・その他の部の4部門で開催し、今回は70本のはちみつが出品されました。今回の審査から新たに食に精通する審査委員3名を加え、審査員11名による審査の結果、青森県知事賞は三沢市の種市美代志さん（アカシアの部）が受賞されました。

畜産フェア(盛岡競馬場)



令和3年10月31日、盛岡競馬場で、県産畜産物のPRを図るため、青森、秋田、岩手、宮城、福島の前北5県合同による「畜産フェア」を開催しました。

青森県からは、シャモロックカレーを来場者150名に配布し県産畜産物のPRを行いました。

当日は競馬場内で他のイベントも開催されており、多数の来場の中で、県産畜産物をPRできて良い機会となりました。



食 育(地全協)

長谷川自然牧場の長谷川洋子さんによる食育講話を、2園のこども園がそれぞれ12/1・12/14に開催しました。長谷川さん手作りのエプロンシアター・動物クイズ・箱の中身当てクイズ・紙芝居・卵割りなど盛りだくさんの内容で、畜産のことをたのしく学びながら、「食べることの大切さ」、「ありがたみ」の話がありました。「食べることはいのちをいただくこと」、こども園の皆さんに「食べものを大切に作る小さなきっかけづくりになれば良い」と思いました。講師を務めてくださった長谷川洋子さん、参加してくださったこども園の皆様、ありがとうございました。



堆 肥 展 示 会

11月2日十和田市で、上北地域県民局地域農林水産部主催の上北地域いきいきヤングファーマーゼミナール「営農基礎研修（堆肥の基礎知識）」において畜産堆肥の展示を行いました。

将来の担い手となる若手耕種農家13名を対象に、同部の植田祐介畜産推進監が畜産堆肥について講義を行ったあと、実際に畜産堆肥を見て触れる時間を設けました。初めて畜産堆肥を見たと話す方が多く、手で触ったりにおいを嗅いだりした他、良い堆肥の見分け方や使い方についての質問も挙がり、有意義な時間となりました。

当協会では県内の堆肥利用促進を図るため、展示会の他、ホームページでも県内堆肥の情報を公開しています。是非ご活用ください。



防 疫 演 習



鳥インフルエンザの発生を想定し、9月16日上北地域県民局が十和田市で「現場事務所の設置訓練」を行いました。

また、11月17日下北地域県民局がむつ市で「防護服の着脱と埋却溝の掘削訓練」を行いました。



各種制度交付金単価

1. 肉用子牛生産者補給金制度

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証	基準価格	541,000円	498,000円	320,000円	164,000円	274,000円
合理化	目標価格	429,000円	395,000円	253,000円	110,000円	216,000円
令和3年度 第2四半期 (7月～9月)	平均売買価格	720,400円	600,500円	—	245,300円	326,900円
	交付単価	—	—	—	—	—
	交付額	—	—	—	—	—

2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）※

対象区分	肉専用種	交雑種	乳用種	備考
令和3年6月期（8月交付）	13,358.7円	26,485.2円	29,786.4円	
令和3年7月期（9月交付）	0円	36,498.9円	29,957.7円	
令和3年8月期（10月交付）	62,589.9円	60,016.8円	27,918.3円	
令和3年9月期（11月交付）	20,105.1円	20,589.3円	35,327.7円	
令和3年10月期（12月交付）	0円	13,215.0円	17,778.0円	（概算払い）

※ 令和2年4月期から県畜産協会の積立金が払底（枯渇）し、国負担の4分の3を交付積立金が払底したため国負担の4分の3を表示

3. 肉豚経営安定交付金制度（豚マルキン）

	平均粗収益	平均生産コスト	交付金単価
令和3年度 第1～2四半期(4月～9月)	39,167円/頭	33,974円/頭	0円/頭

青森県家畜市場成績（七戸）

子牛 市場成績表

【開催日 3年12月10日】

1. 販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種	雄											
	去	309	1,168,200	521,400	820,290	300	326	2,515	309	795,724	2,408	107
	雌	194	1,936,000	407,000	722,609	304	294	2,455	198	678,522	2,288	167
	【小計】	503	1,936,000	407,000	782,616	301	314	2,493	507	749,953	2,364	129
日本短角種	主	5	1,101,100	730,400	941,600	307	320	2,946	7	798,914	2,648	298
	雄											
	去	1	220,000	220,000	220,000	258	261	843				
	【小計】	1	220,000	220,000	220,000	258	261	843				
	主											

・黒毛和種の取引頭数は503頭で、前回より雌4頭減、全体で4頭増となった。
 ・黒毛和種の平均価格は782千円で、前回より去勢24千円高、雌44千円高、全体で32千円高となった。

2. 主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	36	806,056	326	2,475	297	19	719,689	297	2,426	307	55	776,220	2,459	300	10.9
美津照重	28	795,771	323	2,465	310	20	693,055	298	2,328	311	48	752,973	2,410	310	9.5
福之姫	22	907,900	336	2,706	296	23	750,487	303	2,478	301	45	827,444	2,595	298	9.0
勝早桜5	22	876,800	339	2,583	292	13	783,031	325	2,410	293	35	841,971	2,521	292	7.0
百合白清2	24	867,854	332	2,612	293	11	787,300	299	2,633	300	35	842,537	2,618	295	7.0
											※その他省略				
総合計	309	820,290	326	2,515	300	194	722,609	294	2,455	304	503	782,616	2,493	301	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第一花国」で10.9%、次いで「美津照重」9.5%となった。
 第1花国の平均価格は776千円で、前回に比べ34千円高となった。単価は2,459円で前回より82円高となった。

搾乳体験



鱒ヶ沢町にある「ABITANIAジャージーファーム」で10/9・10/13に青森県内の年長児を対象とした搾乳体験イベントを開催しました。牛舎で牛と対面すると、初めは少し怖がりながらも、えさを食べさせているうちに「かわいい!」と慣れてきた様子で牛の顔を撫でて、ひとりひとりが上手に搾乳をすることができました。本物の牛を間近で見て触れて、貴重な経験となったのではないのでしょうか。



搾乳後、ジャージー牛乳の試飲をすると「おいしい!」と喜んでくれたみんなの笑顔がとても印象的でした。ABITANIAジャージーファームの皆様、参加して下さったこども園の皆様、ありがとうございました。



地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は、地方競馬全国協会までご連絡下さい。地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト/馬主申請Q&Aでご覧になれます。

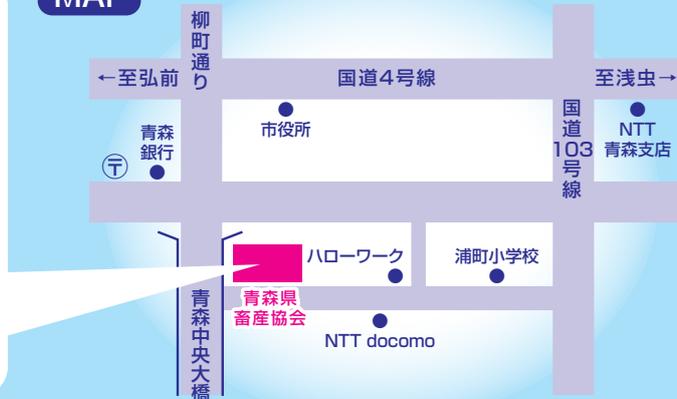
<http://www.keiba.go.jp/>



ビルの上にいる牛は家畜市場へ引っ越しました



MAP



一般社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号(畜産ビル)

総務課 Tel(017)723-2523(代)
家畜衛生課 Tel(017)722-4331

経営支援課 Tel(017)723-2775
Tel(017)718-3809

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp> E-mail info@aomori.lin.gr.jp